

L'Europa in Italia, l'Italia in Europa

イタリアの中のヨーロッパ ヨーロッパの中のイタリア

2016年11月12日(土) 13:00-17:00 (開場12:45)

京都産業大学壬生校地 むすびわざ館 2Fホール・参加申込不要・一般のご来聴歓迎

ヨーロッパでは古代からルネサンスをへて現代にいたるまで、イタリアをその重要な中心のひとつとして、言語・芸術・食文化・政治・経済など、さまざまな分野で交流を深めてきました。そして今日のグローバル社会において、イタリア人の教育や発明などが大きな影響を与えています。たとえば、グーグル、ウィキペディア、アマゾンの創設者は、イタリアのモンテッソーリ教育を受けていました。また、携帯電話やwi-fiがあるのは、イタリア人のマルコーニが無線電信を発明したおかげです。

今回のシンポジウムでは、ヨーロッパ言語学科6専攻全ての教員が登壇してプレゼンテーションをします。それに加えて、外部から2人の講演者をお招きして、イタリアにとってヨーロッパとは何か、ヨーロッパにとってイタリアとは何か、を追究していきます。

第1部 13:00 - 14:45



齊藤 泰弘 先生

外国語学部長挨拶
イタリア文化会館-大阪 館長メッセージ

小林 満
ステファノ・フォッサーティ

特別講演①

イタリア人の歴史的性格

— 天才か? 落ちこぼれか? (秀才でも凡才でもないのは確かだが…)

齊藤 泰弘 (京都大学名誉教授、本学非常勤講師)

プレゼンテーション

ヨーロッパをむすぶイタリアの教育

— ボスコ神父とモンテッソーリ氏の事例

フランチェスコ・ディオダート (イタリア語専攻 助教)

「現代社会」を支え続ける無線電信

— グリエルモ・マルコーニの創った未来

田畑 恒平 (メディア・コミュニケーション専攻 准教授)

休憩 14:45 - 15:00

第2部 15:00 - 17:00



西沢 昭信 シェフ

特別講演②

京都のイタリアン、この30年の歩み

西沢 昭信 (レストランテdivo-divaオーナーシェフ)

プレゼンテーション

『母をたずねて三千里』

— アルゼンチンのスペイン語におけるイタリア語の影響

下田 幸男 (スペイン語専攻 准教授)

Et in Arcadia ego

— イタリアに魅せられたドイツ人たち

杉村 涼子 (ドイツ語専攻 教授)

カラヴァッジョとドウ・ラ・トゥールの間

— イタリアとフランスの美意識

長谷川晶子 (フランス語専攻 准教授)

2人の未来派詩人

— イタリアのマリネッティとロシアのマヤコフスキー

小林 満 (イタリア語専攻 教授)

朗読

朗読 フランチェスコ・ディオダート (イタリア語専攻 助教)

朗読 アンナ・クツレヴァ=ジャメ (ロシア語専攻 教授)

ヨーロッパ言語学科主任挨拶

北上 光志

主催 ▶ 京都産業大学
外国語学部ヨーロッパ言語学科
後援 ▶ イタリア文化会館-大阪
お問い合わせ先 ▶ 外国語学部事務室
TEL 075-705-1461
平日 9:00-16:30 土曜 9:00-12:00



● むすびわざ館へのアクセス
JR 丹波口駅 徒歩5分
阪急 大宮駅 徒歩10分
京福 四条大宮駅 徒歩10分
市バス 五条壬生川 徒歩2分
むすびわざ館に駐車場はございません
お車でお越しの際は、
近隣の有料駐車場をご利用ください

